



ふ れ あ い  
市長室



南あわじ市長 守本 憲弘

## 住民力こそ南あわじ市の最大の強み！ 共にこの困難を乗り越えましょう

4月7日、安倍首相が新型コロナウイルス感染症にかかる緊急事態宣言を行い、兵庫県も緊急事態措置の実施区域となつてから早くも4週目となりました。全世界に感染が拡大し、日本、兵庫県も例外ではありません。4月16日には、淡路島でも3人目の感染者が確認され、ますます予断を許さない状況が続いています。

既にいろいろなところで言われていますが、市民の皆さまに改めて次のような感染拡大防止対策をお願いしたいと思います。

- (1) 不要不急の外出や、三密といわれる「3つの条件の重なり」①換気の悪い密閉空間②多くの人が密集③近距離での会話や発声（密接）を避ける。
- (2) こまめな手洗いや消毒に努め、人混みではマスクを着用する。
- (3) 毎日検温し、熱、せきなど、異常があればむやみに外出しない。

市役所庁舎におきましても、午前・午後の一斉換気や市民の皆さん方の待合スペースでの間隔の確保、終業後の庁舎内のこまめな消毒作業など、感染予防に努めております。ご不便をおかけする場合もあるかと存じますが、ご理解・ご協力をお願い申し上げます。

## 農学部新入生の受け入れ

本年度の入学宣誓式は新型コロナウイルスの感染防止対策として、残念ながら中止となりましたが、南あわじ志知キャンパスには学部生 69 名（内2年次編入生1名）、大学院（修士課程）生3名が入学しました。



講義開始は5月からとなりますが、すでに南あわじ

市内のアパートに入居している学生もあり、キャンパスでの新生活を心待ちにしています。

南あわじ市民の皆さまにおかれましても新入生がアルバイトなど生活の面でお世話になることも多々あると思われます。ご指導のほどよろしくお願いします。

南あわじ市民の皆さまにおかれましても新入生がアルバイトなど生活の面でお世話になることも多々あると思われます。ご指導のほどよろしくお願いします。



新型コロナウイルス感染症対策に係る施策についての記者発表



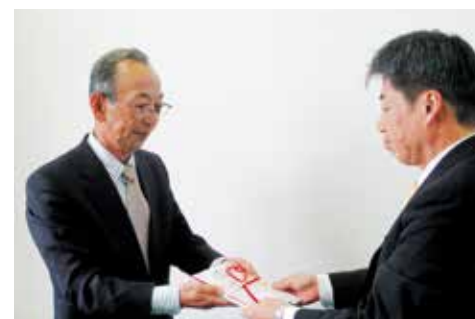
本市においては、新型コロナウイルス感染症対策についての国・県の緊急経済対策の実施に加え、それらを補完する市の施策の展開を行うため、4月末の臨時議会に補正予算を提案させていただきました。

南あわじ市の基幹産業である農畜水産業、本来であれば、春の大潮で多くの観光客が訪れる鳴門海峡の渦潮や 500 余年の伝統を誇る淡路人形浄瑠璃をはじめ、多くの観光施設、旅館、ホテルや商工業も売り上げが大きく落ち込み、休業も増えている現状にあります。国の個人向け給付金をはじめとする各支援策について、スピード感をもって対応できるよう、十分な準備を行っています。

特に市民の皆さんの関心が高い、個人や事業主の方々への給付金等については、市でも電話での相談を受け付けるコールセンターを立ち上げ、対応してまいります。問合せ電話番号等については、今月号の広報紙の3ページに掲載しています。

また、南あわじ市商工会や南あわじ市社会福祉協議会にもご理解をいただき、具体的な相談に対応できる窓口体制を立ち上げています。

市民の皆さんには、ご不便をおかけする部分も多々あるかと存じますが、今こそ南あわじ市の強みである強力な住民力を発揮していただいて、市民一丸となってこの状況乗り越えていくときであると思います。市といたしましても、職員が全力で対応いたしますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



浅井教育長に寄贈の目録を手渡す柳本会長(左)

4月から市内の小中学校に入学する子どもたちを交通事故から守ろうと、南あわじ交通安全協会（柳本佳博会長）から市教委に、夜光反射材の寄贈がありました。寄贈品は、小学生用にランドセルやカバンなどに付けることができる「反射御守くん」370個と、中学生用に自転車の車輪に付け



寄贈品の反射御守くん(上)とサイクルフレクター(下)

る「サイクルフレクター」420個。各小中学校を通じて、入学した子どもたちに配られました。

## 新入生に夜光反射材 交通安全協会から寄贈



屋外で紙飛行機を手にする児童ら

学校統合により3月末で閉校となった西淡志知小学校で、3月24日に閉校式が開かれました。当初は全児童や卒業生、地域住民らの参加を予定していましたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため規模を縮小。5年生10人と教職員らが出席して挙行されました。同校は昭和33年創立で、

62年間で1172人の卒業生を送り出しました。4月からは三原志知小学校との統合により「志知小学校」が開校。校舎は西淡志知小学校の施設を使用します。閉校式では、校歌斉唱のあと、市教委へ校旗が返納されました。式典後には児童らが屋外で、母校への思いを込めて紙飛行機を飛ばしました。同小5年の澤内裕正さんは「閉校は寂しいけど新しい学校でも楽しく生活したい」と話しました。

## 西淡志知小学校で閉校式 4月から「志知小学校」が開校

## 県農業共済組合が設立 新事務所で事業開始



新たに建設された県農業共済組合南あわじ事務所

兵庫県農業共済組合が設立され、県内の農業共済事業が同組合に一本化されました。4月からは、新たに建てられた同組合南あわじ事務所（複列上幡多1911番地3）で業務が始まり、市役所で行ってきた農業共済事業が引き継がれました。同組合南あわじ事務所 ☎42・6210



市役所本館3階の総務課に実施本部を設置

今年10月1日を調査期日として、令和2年国勢調査が全国一斉に実施されます。この調査は、国の最も重要な統計調査として行われ、結果は地方創生や少子・高齢化対策などに活用されます。市では、調査の円滑な実施に向け、3月26日に実施本部を設置しました。図総務課 ☎43・5001

## 令和2年国勢調査 南あわじ市実施本部を設置